

成蹊中学高等学校インターネット利用基本方針

2014.3.17 制定・発効

2021.12.6 改定

成蹊中学高等学校

現代では、インターネットを利用することが当たり前のようになっています。しかし、インターネットを用いた様々なコンテンツの利用は自己責任です。各コンテンツを利用する前に、よく家族と話し合った上で使いましょう。

また、Twitter や LINE、Face book、Instagram に代表されるいわゆる SNS（ソーシャル ネットワーキング サービス）を利用する生徒、パズドラに代表されるソーシャルゲームを楽しむ生徒が増えています。非常に便利なサービスですが、使い方を注意しないと思わぬトラブルに巻き込まれることや、気付かないうちに加害者にも被害者にもなる可能性があります。そこで、以下に本校生徒が SNS やソーシャルゲーム、その他インターネットサービスを利用する際の学校としての基本的な考え方を示し、広く公開するものとします。

① SNS やソーシャルゲーム、その他インターネットサービスの利用は自己責任です

無知や軽い気持ちで行った行為によってあなたに**被害が生じても、それは自己責任です。また、あなたが加害者になった場合は、学校はその行為を許しません。**その道具であるスマートフォン・携帯電話・パソコンの購入契約には保護者の同意が必要である以上、当然、**保護者にも責任が生じます。**

② 一度発信した情報は全世界に公開され、完全に削除することはできません。

インターネットにおけるすべてのサービスは世界につながっています。SNS 等で公開範囲を限定しているつもりでも、あるいはグループだけで共有しているつもりでも、あなたが書き込んだ内容はこの瞬間にも誰かにコピーされ、別の場所で公開されているかもしれません。また、一度発信した情報は、自分で削除したつもりでも世界の誰かによって再公開されることもあります。**公開範囲を限定してもその危険性があります。**世界中の人に情報発信をしていることを理解し、覚悟を持って利用してください。

③ 個人情報の記載は特に気をつけましょう

自分の個人情報をどこまで公開するかは、最終的には自分の判断で行うものですが、じゅうぶんに慎重であるべきです。基本 4 情報（個人名、住所、年齢、性別）や学校名（最寄駅など学校名の特定に至る内容を含みます）などの記載は特に気を付けましょう。制服やユニフォームを着用した写真や自宅周辺の写真は、学校や個人が特定されますので注意が必要です。**実名を出していなくても、複数のメディアの情報を突き合わせることで本人を特定することができます。公開された自分の情報が、将来にわたって自己に対して不利益を生じさせる可能性があることを覚悟しましょう。**進路や就職などで不利益になる恐れもあります。

※ 個人情報には、その情報のみで個人を識別できるものはもちろん、他の情報と組み合わせることで個人を識別できる情報も含まれます。

④ 他人の情報を無断で書き込んではいけません

他人の情報を勝手に公開する権利は、あなたにはありません。友達の情報を載せることは、友達をインターネット上の危険にさらしてしまうことを意味します。日記一行、写真一枚など、些細な情報でも必ず友達の確認を取りましょう。また、間違った内容を書いてしまった場合はすぐ訂正しましょう。そして、直接誠実に謝りましょう。

⑤ 学校や他人の名誉を傷つける書き込みをしてはいけません

学校や他人の名誉を傷つける・困らせる書き込みをしてはいけません。あなたが無意識に発信した言葉でも、他人は不快に感じる言葉は多くあります。ましてや、**意図的な誹謗・中傷は絶対にしてはいけません。**

⑥ 無視(スルー)する勇気を持ちましょう

SNS の多くでは基本的に文字が中心のやり取りですので、友達の感情が分からず悩むときもあるでしょう。誰かが発した言葉が一人歩きをしてしまうことも少なくありません。そんなときには**無視(スルー)する勇気**を持ちましょう。

また、知らない他人からの勧誘や甘い誘い、あるいは身に覚えのない代金の請求などに反応してはいけません。反応すればかえってあなたの情報を教えてしまうことになるなど、事態を悪化させてしまいます。

⑦ 会ったことのない人とのコミュニケーションは気をつけましょう

インターネットの世界では素顔や表情が見えません。誰かのふり（「なりすまし」行為）をして近づいてくる人もいるでしょう。知らない人とコミュニケーションをする際は、現実世界よりも慎重に判断して下さい。ましてやそういう人と実際に会うことは、危険なことです。

⑧ 法律を守りましょう

現実世界でやってはいけないことは、インターネット上でもしてはいけません。上の項と重複しますが、**他人の基本的な人権・肖像権・プライバシー権を侵害してはいけません**。未成年の飲酒・喫煙や万引きなどの行為を容認したり助長するような書き込みも同様です。また、ビットコイン（Bitcoin）に代表される暗号資産や、ゲーム上のアイテムやキャラクターなど、架空現実の物であっても、金銭的価値が認定されるケースは数多くあります。そういった物を無断借用したり不正使用すると、現実の窃盗と同じように扱われるので絶対にしてはいけません。

⑨ 困ったら信頼できる大人に相談しましょう

SNS 等へ書き込んでいいか判断に迷ったら、先生や親など責任ある大人に相談しましょう。また、SNS 等インターネットサービスによって傷ついたり悩んだときもすぐに相談しましょう。

⑩ 利用時間をコントロールしましょう

学習時間が同じでも、スマートフォンやパソコンの利用時間が長いの方が成績が低くなる、という統計結果があります。ましてや、確保すべき学習時間を削ってそれら进行操作していたら、成績が下降するのは明らかです。また、友達とのコミュニケーションについても、**夜遅い時間までやりとりするのは避けましょう**。お互いにとってマイナスです。

⑪ ID やパスワードは自分で管理しましょう

ID やパスワードは自分で管理し、他人に知られないようにしましょう。他人に ID やパスワードが知られてしまうと、**使っているインターネットサービスを乗っ取られ、悪用されることがあります**。絶対に知られないよう、きちんと管理しましょう。また、以下の3点にも留意してください。

- ▶ 自分で決めていない**初期パスワードは必ず変更しましょう**。初期パスワードは同じものが使われている場合や、定期的に定められている場合もあり、他人が容易に推測できる可能性があります。初期パスワードが記載されている紙等が他の人の手にわたるなどして、パスワードが知られてしまう可能性もあります。
- ▶ 自分でパスワードを決める場合は**簡単なものにしてはいけません**。同じ文字を並べたもの、生年月日や単語、生年月日や単語の組み合わせ等では、他人に推測されてしまいます。
- ▶ **複数のインターネットサービスで同じパスワードを使用することはやめましょう**。万が一、あるインターネットサービスからパスワードが他人に知られてしまうと、同じものを使っている全てのパスワードを知られたこととなります。つまり、**利用している全てのインターネットサービスを悪用されてしまう可能性があります**。

※ ⑩はインターネット利用時以外でも、同様に気を付けましょう。（暗証番号も含む）

保護者の皆様へ

以上、①～⑪のインターネット利用基本方針を公開しました。最初に記載したとおり、SNS やソーシャルゲーム、その他インターネットサービスの利用は自己責任です（加害責任を含む）。SNS をはじめとしたインターネットサービスは大変便利ですが、トラブルになった場合、本人やご家庭だけで解決できないこともあります。購入契約に同意し、道具を買い与えた以上、保護者の皆様にもインターネットにおける法律や社会のルールを理解する必要があり、お子様がそれらを遵守しているかどうかを監督する責任があります。

生徒にとってより安全なインターネット利用環境を維持するためにも、ご協力よろしくお願いたします。